

〈緊急お知らせ〉 はしか(麻疹)について

保健環境センター

はしか(麻疹)の流行の影響で、2007年4月に創価大学、5月に上智大学が全学年休講になったことはみなさんご存知のことと思いますが、全国的に流行の兆しがみられます。講義への参加が出来ないことだけでなく、これから就職活動や実習を控えている学生はそれらの活動が出来なくなる恐れもあります。以下の点に注意しましょう。

1. はしか(麻疹)は子供の病気ではありません。大人も感染し、肺炎や脳炎などの重症化(年間数十人死亡)や将来後遺症が残る可能性もあります。まれですが、麻疹にかかったあと5年から10年経過して亜急性硬化性全脳炎(SSPE)という難病になるケースもあります。
2. 免疫がなければ必ず発症します。予防接種を受けていても10年経過した場合は効力が低下し、かかる率は高くなります。はしかにかかったことのない人や予防接種を受けていない場合は、任意接種を受けることを(受けても10年以上経過している人は追加接種を)お勧めします。予防接種は保険がききませんので自費扱いとなります。5,000円~8,000円程度(*予約や費用については近医の医療機関にお問い合わせください)
3. はしか(麻疹)にかかった恐れのある場合は、すぐ病院を受診しましょう。また、はしか(麻疹)の人との接触があった場合でも、72時間以内に7クチンを接種することで発病を防ぐ(軽症化する)ことはできます。(症状等は以下を参照)

はしか(麻疹)とは・・・

ウイルスによる感染で、潜伏期(症状が出ない期間)が8~12日と長く、その期間にも感染します。また、感染力が強いため流行しやすいのが特徴です。

例)旅行先や人混みの中で感染した例もあります。GW(ゴールデンウィーク)中に出かけたい帰省先で友人と遊んだらこの時期は要注意です!

好発時期:春(3~6月)

感染力のある期間	発疹の出る5日前から発疹出現後4日まで 咳や空気中にあるウイルスから感染する(空気感染)
出席停止期間	解熱した後3日を経過するまで

症状:①はじめの2~3日は熱、咳、鼻水、目やになど風邪と良く似た症状です。

②いったん熱が下がり、再び高熱が出ると同時に発疹が現れます。

③発疹がでてから4~5日高熱になります。

発熱・・・38~39度台の高い熱が3~4日続き、いったんやや下がりますが発疹の出現とともに39度台の高熱が数日続きます。

咳・・・強い咳が続くことが多い

目やに・・・黄色や黄緑色の目やにが数日あり

コブシク斑・・・頬の内側に白(灰)色の小さな斑点が多数出現します。発熱などの症状が出始めた3日目頃に出現し2日間位で消失します。

発疹・・・症状が現れはじめて4日目位に2~3mm程度の丸い紅色の発疹が顔や首に現れ、胸や腕など全身に広がります。その後発疹が重なり融合して暗褐色に変化し色素沈着(しみ)を残して消えていきます。色素沈着は1~2週間で消えていきます。

「はしか(麻疹)にかかったかな?」と思ったら・・・

1. 必ず近医を受診する(その際に、病院に電話ではしかの可能性のあることを伝えておくと受診時間を指定されるかもしれません。その指示にしたがってください。)
2. 外出を避ける。また、感染させる可能性のある時期(潜伏期も含めて)に接触のあった人には電話等連絡しておく。

* 麻疹と診断された場合は、学校を休み、保健環境センターへ電話で連絡してください。

*

TEL0566-26-2193